

Flash Eyes

観戦ガイド1月13日号

天皇杯・皇后杯
2021年
全日本卓球選手権大会
(一般・ジュニアの部)
【無観客大会】
2021年1月11日(月)
～1月17日(日)



1月13日の予定

- 男子シングルス 1回戦
- 女子シングルス 1～2回戦
- ジュニア男子 5回戦
- ジュニア女子 5回戦

【無観客大会】

会場へは来場いただけません。
試合・結果はWEBをご覧ください。
土・日はNHKの中継もあります。

◆ ライブ配信・試合速報

試合のライブ配信・結果速報は、大会特設
サイトでご覧いただけます。下記アドレスで
ご確認ください。さあ、今すぐアクセス！

● 全日本選手権特設サイト

<http://www.japantabletennis.com/zennihon2021/>

LIVE
896 試合
ライブ配信

速報・記録

検索 🔍

◆ NHK中継

1月16日(土)

女子シングルス 準々決勝
男子シングルス 準々決勝

1月17日(日)

女子シングルス 準決勝・決勝
男子シングルス 準決勝・決勝

全日本 予測不能

1月12日、2021年全日本卓球選手権大会2日目が行われた。ジュニア男女はスーパーシード勢が登場。ジュニア男子は第一シードの吉山僚一が敗退し、ジュニア女子では優勝候補の木原美悠が初戦で姿を消す波乱。

本日13日はいよいよ男女シングルスが始まる。例年と全く違う環境で本来の実力を発揮できない選手も多く、波乱が起こりやすい今大会。予測不能の全日本は中盤戦へ…

大会2日目の12日はジュニア男女の4回戦までが行われた。

ジュニア女子には、小学6年生・張本美和が登場。力強いプレーを見せたが4回戦で敗退し、初のベスト16入りとはならなかった。連覇を狙う大藤沙月、昨年準優勝の小塩遥菜は危なげない立ち上がりで5回戦へ駒を進めた。優勝候補の一角、木原美悠はまさかの初戦敗退を喫した。

ジュニア男子では連覇を狙う吉山僚一が強気に攻める相手に気圧され4回戦で姿を消した。順当にベスト16に駒を進めた鈴木颯、篠塚大登ら愛工大名電勢の中でも、1回戦から勝ち上がりスーパーシードを破った中学生加山雅基が好調。昨年準優勝の松島輝空は以前負けたことがある相手に苦戦するも、2度のデュースに競り勝ち16強入り。

本日13日は、ジュニア男女のベスト8が決まるほか、男女シングルスが始まる。

ジュニア女子は大阪勢がベスト16のうち10人を占める1強状態。そこに3人食い込んだ明德義塾の上澤茉央、青井さくら、白山亜美の活躍にも注目。

ジュニア男子はベスト16に愛工大名電勢8人が名を連ねる好調ぶり。名電・吉山僚一を破った星優真は勢いそのまま快進撃を続けるか。

男子シングルスでは上田仁、松平健太といった日本代表経験者が1回戦から登場する。女子シングルスには張本美和が登場。ジュニアの悔しさをバネに勝利をつかめるか。張本と同じく小学6年生の竹谷美涼、ジュニア16強入りした上澤杏音、白山亜美、赤江夏星らの

はつらつとしたプレーにも注目したい。

青文字の選手名をクリックまたは
タップすると今大会の個人記録・
試合予定が表示されます。



加山雅基



上澤茉央



星優真

競技日程

● [第4日] 1月14日(木)

- 男子シングルス 2回戦～3回戦
- 女子シングルス 2回戦～3回戦
- ジュニア男子 準々決勝～決勝
- ジュニア女子 準々決勝～決勝

● [第5日] 1月15日(金)

- 男子シングルス 4～6回戦
- 女子シングルス 4～6回戦

● [第6日] 1月16日(土)

- 男子シングルス 準々決勝
- 女子シングルス 準々決勝

● [第7日] 1月17日(日)

- 男子シングルス 準決勝～決勝
- 女子シングルス 準決勝～決勝

1/12 PHOTO トピックス



伊藤百華



伊藤七海



伊藤佑太

■ 3姉弟が躍動

百華・七海・佑太の伊藤3姉弟が揃い踏み。

小学6年生で3回戦に進出した末っ子・伊藤佑太は将来が楽しみな選手。

▼1月12日 記者会見ほか▼



赤江夏星選手

初戦は自分のプレーができたので良かった。二試合目はあまり得意ではないカットマンとの対戦で、序盤リードされたが試合の中で調整して3-0で勝てたのでよかった。1ゲーム目は相手の回転がわからなくてリードされたが、途中から回転を見極めてわかったボールを打ち込むようにした。シングルスはベスト16目指して頑張ります。石川佳純選手と当たるまで勝ち進めたら、思い切って自分のプレーができるといいなと思います。



篠塚大登選手

いつも練習している場所よりは広いので、感覚が違ったりするのかなと思いましたが、感覚的にはいい感じだったので、いい調子で明日につなげられたかなと思います。昨日試合があった選手に会場が寒いということを知っていたので、アップをしっかりとやって臨みました。優勝を目指して頑張りますが、一戦一戦目の前の試合に集中していきたいです。



大藤沙月選手

久しぶりの試合で緊張するかなと思ったんですけど、意外と練習通りできたのでよかった。前回チャンピオンということに対してはあまりプレッシャーはなくて、最初から全員に向かっていって優勝する気持ちでやっています。



木原美悠選手

初戦で敗退してしまいましたが、悔しいというよりは後悔の気持ちが多い。足が思うように動かず、自分の思った技術や戦術ができなかった。ジュニアは少しプレッシャーがあって、緊張で足が動かなかったのが敗因です。

(3枚目に続く)

▼1月12日 記者会見ほか▼



吉山僚一選手

まずはこの大会を開いてくれた関係者の方に感謝をしています。昨年優勝したことでプレッシャーがありました。相手が想定以上に思い切って攻めてきて、守る展開になって負けてしまいました。明日からの一般は逆に自分が挑戦する立場なので、向かっていって一戦一戦できればいいかなと思います。



松島輝空選手

去年と違ってなかなか試合がなく、緊張や焦りがありました。二試合目は負けたことがある選手なので、いやだなと思いましたが、デュースなどの苦しい場面も焦らず行こうという気持ちでやって乗り越えられてよかったです。エリートアカデミーに入って食事がすごく変わった。去年は小学生だったのでパワーで押されたりしたが、そういうことが少なくなった。身長は去年の149センチぐらいから今年は155センチになった。体重はあまり増えていなくて47kgぐらい。



張本美和選手

今日の3試合目は負けてしまいましたが、負けていても落ち着いてプレーできたところはよかったです。明日のシングルスでは、今日ダメだったところを改善して、頑張っている姿をみんなに見せたいです。スーパーシードの選手のところまで勝ち上がることが目標です。



小塩遥菜選手

一試合目は会場が寒くて体が動かなかったが、二試合目は体が動いて練習してきたプレーができたかな、と思います。寒さ対策にはカイロを使いました(笑) 前は2位という悔しい結果だったので、今回はコロナ禍のなかでずっと練習してきたことを出したいです。

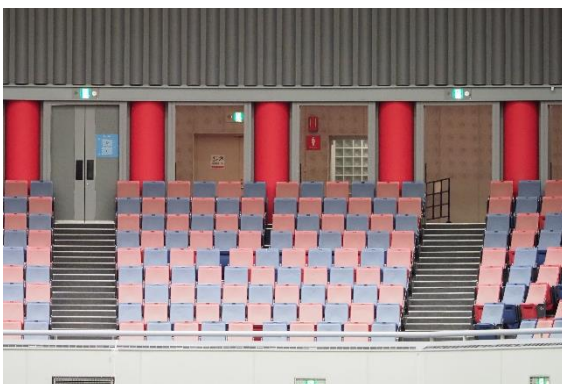


選手の会見はすべてリモート対応

■ 感染対策実施中 その2



防球フェンスは抗菌仕様に



定期的に扉を開放して換気を実施



インタビューも画面越しで